

単
元
名

むかしのあそびにちょうせんしよう

教科書出版社名（ 東京書籍 ）

○ 小学校（ 1 ）年 教科等（ 生活 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

- ・本や資料からむかし遊びの遊び方を読み取る力。
- ・友だち同士でむかし遊びの遊び方を教え合う力。

○ 学校図書館活用のポイント

- ・むかしの遊びに関する本を大型テレビに映して読み聞かせを行うことで、児童の意欲を高める。
- ・おはじき、お手玉、けん玉、こま、あやとりに関する本や資料を用意し、遊び方やわざ、コツなどを知りたいときにすぐに読めるようにする。

○ 学習の展開（全3時間）

第1次 おはじき お手玉	・むかしの遊びに関する本を紹介する。 ・おはじきの遊び方「はじき出し」を知り、グループで遊ぶ。 ・本や資料からお手玉の遊び方を知り、その中からやってみたいことを選び、上達するコツを資料から読み取り、実践する。
第2次 けん玉 こま	・本や資料からけん玉やこまの遊び方を知り、その中からやってみたいことを選び、上達するコツを資料から読み取り、実践する。
第3次 あやとり	・本や資料からあやとりの遊び方を知り、その中からやってみたいことを選び、実践する。



【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

① 成果	<ul style="list-style-type: none">・本や資料を用意することで、遊びを楽しむだけでなく自分で本や資料を読んだり、絵を見ながら遊び方を知ったりするなど、児童が主体的に取り組むことができた。・自ら本を手に取り、遊び方を調べる児童や、友だち同士で教え合う様子が見られた。
② 課題	<ul style="list-style-type: none">・団体貸し出しを利用したものの、本のジャンルに偏りがでてしまい、十分な冊数を集めることができなかった。・本や資料から上手にできるコツを読み取り、書く活動が1年生には少し難しかった。
③ 児童の感想・ふりかえり	<ul style="list-style-type: none">・お手玉の本の紹介で、世界のお手玉や、日本のお手玉の歴史、お手玉の中身などについて知ることができ、初めて見るものや知ったことについて驚いた様子だった。・児童の中には初めて体験する遊びもあったが、友だちと楽しみながら遊ぶ様子が見られた。・けん玉のコツはひざを曲げる、お手玉のコツは頭より上に投げるなど、資料から読み取ったり、自分で考えたりしながらワークシートに書き込んでいた。

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

<ul style="list-style-type: none">・むかしの遊びに関する本を大型テレビに映して読み聞かせを行った。「おてだま」「おはじき」「あやとり」「こま」「けん玉」などのむかしの遊びに関する本は、図書室にあるものの普段あまり手に入る機会のない本なので、興味を持って読めるようにするために提示した。・1人1冊を用意することができなかったため、数冊の本をもとに資料を作成し、児童に配った。
--